



Simplex Institute

オプション単独買い

2026年 4月

直近の日経平均の動き



前回の「プット・オプション買い」の実例

イラン戦争勃発!!

2026年 3月2日(月)11時30分頃

中東産原油に大きく依存した日本経済を考えれば, 現在 58,000円の水準の日経平均は 10%下落し 52,000円程度にまで売り込まれてもおかしくない
3月限権利行使価格 52000円のミニ・プットの価格が 150円だったので
それを 1枚購入(購入代金 = 15,000円 = 150×100)し相場下落を待った

2026年 3月9日(月)11時00分頃

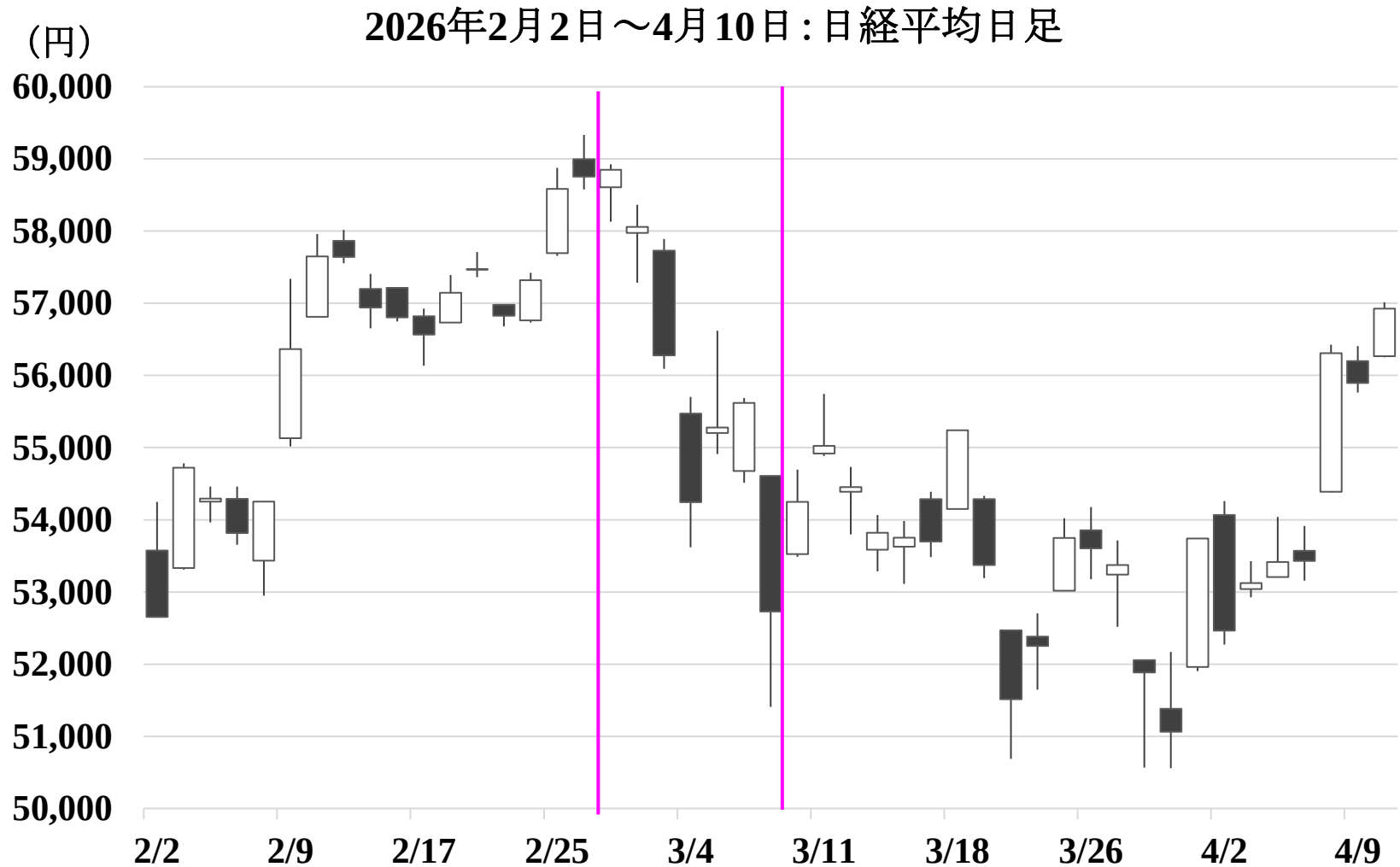
日経平均は予想通り下落し51,500円近辺, 行使価格 52000円のミニ・プットの
価格は 1,720円となったので売却し, 利益は

$$(1,720 - 150) \times 100 = 157,000 \text{円}$$

購入代金 15,000円に対する収益率は 1,046%

1週間の稼ぎとしては悪くない

プット単独買いのタイミング



このプット取引は何故上手くいった？

(1) 安い値段のオプションを買った

もし、3月2日に行使価格 54000円のミニ・プットを価格 259円で買ったとしたら、3月9日にミニ・プットの価格は 1,800円となり、利益自体はこの例とほぼ同じだが、収益率は 595%とかなり悪くなる

(2) 下落が短期間(5営業日)で実現し、保有期間が短かった

もし、3月9日にミニ・プットを売却せずに 13日の SQまで保有し決済したら SQ値は 52,909.45円で売却価格は 0円となり、利益どころか損失となる
→ ITM(イン・ザ・マネー)になったら利食い時と心得よ

(3) 下落による「効果」がボラティリティの増大につながった

相場下落だけから生まれる利益を理論的に計算すれば、9日の利益は 1,050円程度となって前ページの例の 66%でしかない
→ 暴落時のボラティリティ(IV)の増大による追加の利益は狙い目

前回の「宝くじオプション」の実例

2026年 3月11日(水)12時35分頃

日経平均は毎日大きく乱高下し、現在 55,500円の水準
基調は「弱い」と読んでいるので「日経ミニを売ろう」と思うが、最近の先物は
一日で 2,000円程度上下するので 数万円の損失を覚悟する必要がある
それなら、翌々日に満期を迎える行使価格 53500円のミニ・プットが 136円
(売買代金は13,600円)で買えるので、それを 1枚購入して SQ日を待った

2026年 3月13日(金)

2日間で日経平均は予想通り下落し、SQ値は 52,909.45円となった
行使価格 53500円のミニ・プットの最終決済価格は

$$53,500 - 52,909.45 = 590.55 \text{円 (売買代金は 59,055円)}$$

となり、購入代金 13,600円に対する利益は

$$59,055 - 13,600 = 45,455 \text{円}$$

となり、2日間の稼ぎ(収益率 = 334%)としてはまあまあ

別の「宝くじオプション」の実例

2026年 4月7日 (火) 15時45分頃

トランプ氏のイランへの大規模攻撃開始期限を明日 (8日 日本時間 8時) に控え, 市場はそれを織り込みつつあるが, もし過去にあるように「TACO」となった場合, 現在 53,500円の水準の日経平均は 2,000円以上高くなってもおかしくない

そこで行使価格 55500円の 4月限ミニ・コールを 8円で 10枚 (8,000円) 買う

2026年 4月8日 (水) 15時45分頃

狙い通り「TACO」が出現し, 日経平均は 3,000円近く上昇
前日購入したコールは 1,150円となってすべて売却し

$$(1,150 - 8) \times 100 \times 10 = 1,142,000 \text{円}$$

の利益を得る

「宝くじオプション」のコツ

- (1) イベントに際してポジションを取り, イベント終了後はその日のうちにさっさと撤退する
→「欲を掻く」(欲張る)とロクなことはない
- (2) オプションの買代金がすべて無くなることを覚悟する
→「ドブに捨てても痛くない金額」で勝負する
- (3) 参加者の多くが「こうなる」と考え, 相場が織り込み済になったら反対側のポジションを取るのも面白い(利が大きく乗る)
→「周囲と同じことをやっても大したことはできない」の典型例

注)「人の行く 裏に道あり 花の山 いずれに行くも 散らぬ間に行け」(千利休)

さらなる勉強のために

大阪取引所から公開されているサイト

『OSE先物・オプション シミュレーター』

(<https://www.fopstudy.com/>)

- (1) 無料で先物・オプション取引を体験
- (2) ゲーム感覚で楽しく学習
- (3) 本格的な取引画面
- (4) 解説動画付きで分かりやすい

講師プロフィール

伊藤祐輔(いとうゆうすけ)

株式会社シンプレクス・インスティテュート 代表取締役

1976年早稲田大学理工学部数学科卒業, 1983年同大学大学院理工学研究科後期課程修了. 偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け, 1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券(現シティグループ証券)に入社. 株式部長, 株式デリバティブトレーダーとしてマーケットにかかわる. 1999年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券(現クレディ・アグリコル証券)に移りトレーディングデスクの再構築を行い, 2000年(株)シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任.

免責事項

当資料の内容は, 投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり, 投資の勧誘を目的としたものではありません.

投資に関する最終的な決定は, ご自身の判断と責任においてなさるようお願い致します. 株式会社シンプレクス・インスティテュートでは, 当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても, 一切の責任を負うものではありません.

無断転載を禁ず

当資料の全部, または一部を無断で複写・複製・転載, および磁気・高記録媒体に入力することなどは, 著作権法上の例外を除き禁じられています.

株式会社シンプレクス・インスティテュート

〒105-6223 東京都港区愛宕 2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー23階

URL: <http://www.simplexinst.com>

参加者アンケート



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご注意事項

- 本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。
- 必要証拠金額は当社証拠金(発注済の注文等を加味した証拠金×100%)－ネット・オプション価値(Net Option Value)の総額となります。
- 当社証拠金、およびネット・オプション価値(Net Option Value)の総額は発注・約定ごとに再計算されます。
- 証拠金に対する掛け目は、指数・有価証券価格の変動状況などを考慮のうえ、与信管理の観点から、当社の独自の判断により一律、またはお客さまごとに変更することがあります。
- 「HYPER先物コース」選択時の取引における建玉保有期限は原則新規建てしたセッションに限定されます。なお、各種設定においてセッション跨ぎ設定を「あり」とした場合には、プレクロージング開始時点の証拠金維持率(お客さま毎の証拠金掛目およびロスカット率設定に関わらず必要証拠金額は証拠金×100%で計算)が100%を上回っていれば、翌セッションに建玉を持ち越せます。「HYPER先物コース」選択時は必要証拠金額は証拠金×50%～90%の範囲で任意に設定が可能であり、また、自動的に決済を行う「ロスカット」機能が働く取引となります。
- 先物・オプションの証拠金については日本証券クリアリング機構のWEBサイトをご覧ください。
- 指数先物の価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、比較的短期間のうちに証拠金の大部分、またはそのすべてを失うこともあります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。また、指数先物取引は、少額の証拠金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失を被る危険性を有しています。
- 日経平均VI先物取引は、一般的な先物取引のリスクに加え、以下のような日経平均VIの変動の特性上、日経平均VI先物取引の売方には特有のリスクが存在し、その損失は株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる可能性があります。資産・経験が十分でないお客さまが日経平均VI先物取引を行う際には、売建てを避けてください。

ご注意事項

- 日経平均VIは、相場の下落時に急上昇するという特徴があります。
- 日経平均VIは、急上昇した後に数値が一定のレンジ(20～30程度)に回帰するという特徴を持っています。
日経平均VIは、短期間で急激に数値が変動するため、リアルタイムで価格情報を入手できない環境での取引は推奨されません。
- 指数オプションの価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。
なお、オプションを行使できる期間には制限がありますので留意が必要です。買方が期日までに権利行使又は転売を行わない場合には、権利は消滅します。この場合、買方は投資資金の全額を失うことになります。売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、指数オプション取引は、市場価格が現実の指数に応じて変動しますので、その変動率は現実の指数に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失を被る危険性を有しています。
- 未成年口座のお客さまは先物・オプション取引口座の開設は受付いたしておりません。
- 「J-NETクロス取引」で取引所 立会市場の最良気配と同値でマッチングする場合、本サービスをご利用いただくお客さまには金銭的利益は生じないものの、SBI証券は委託手数料を機関投資家から受け取ります。
- J-NETクロス取引の詳細は適宜修正される可能性がありますのでご注意ください。

金融商品取引法等に係る表示

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりつく株365)、店頭CFD取引(SBI CFD)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法等に係る表示

https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html

商号等:株式会社SBI証券 (金融商品取引業者、商品先物取引業者)

登録番号:関東財務局長(金商)第44号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会